



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月10日

上場会社名 日本プラスト株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7291 URL <https://www.n-plast.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永野 博久
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画本部長 (氏名) 豊田 剛志 TEL 0544-58-9080
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (動画配信を予定しております)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績 (2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	56,514	△29.5	△316	—	△175	—	△498	—
2020年3月期第3四半期	80,113	△6.2	3,580	△1.5	3,284	△7.9	2,057	△17.0

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 △1,208百万円 (-%) 2020年3月期第3四半期 925百万円 (△44.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	△25.90	—
2020年3月期第3四半期	106.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	72,639	33,108	45.6
2020年3月期	74,784	34,816	46.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 33,108百万円 2020年3月期 34,816百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2021年3月期	—	10.00	—		
2021年3月期 (予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	83,000	△21.8	0	△100.0	0	△100.0	△700	—	△36.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	19,410,000株	2020年3月期	19,410,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	289,499株	2020年3月期	25,833株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	19,265,185株	2020年3月期3Q	19,385,177株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における国内外の経済は、新型コロナウイルスの世界的感染拡大の影響による停滞から回復局面に移行しておりますが、感染再拡大の影響に加え、半導体供給不足等により自動車の販売動向についても先行きは不透明な状況にあります。

このような状況の中、当第3四半期連結累計期間における売上高は、上期の新型コロナウイルスの感染拡大影響により前年同期比29.5%減の56,514百万円となりましたが、当第3四半期で順調に回復しております。損益面では、上期の減収影響等により営業損失は316百万円（前年同期は3,580百万円の営業利益）となりましたが、様々な改善活動により回復局面に入りました。経常損失は175百万円（前年同期は3,284百万円の経常利益）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純損失は498百万円（前年同期は2,057百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

① 日本

国内の売上高は、新型コロナウイルスの感染拡大による得意先の大幅減産から順調に回復しているものの、上期影響等により20,053百万円と前年同期に比べ5,233百万円（△20.7%）の減収となりました。セグメント損失は、減収対策として工場・本社ともに休業を実施し、諸経費についても抑制をはかったものの、上期影響を挽回できず1,080百万円（前年同期は374百万円のセグメント利益）となりました。

② 北米

北米の売上高は、得意先の減産影響及び受注部品の変化に加え、新型コロナウイルスの感染拡大による得意先生産ラインの停止等により19,010百万円と前年同期に比べ14,041百万円（△42.5%）の減収となりましたが、当第3四半期で順調に回復しております。セグメント損失は、上期の減収影響により938百万円（前年同期は785百万円のセグメント利益）となりましたが、減収対策として米国では政府補助金を活用したレイオフ、メキシコでは休業を実施し、諸経費についても抑制をはかり当第3四半期でプラスに転じました。

なお、米国では大統領選後の混乱や政策の転換等の影響について引き続き注視してまいります。

③ 中国

中国の売上高は、第1四半期での新型コロナウイルスの感染拡大による都市封鎖の影響により15,839百万円と前年同期に比べ2,903百万円（△15.5%）の減収となりましたが、第2四半期から当第3四半期にかけて急激に回復しております。セグメント利益は、生産停止影響により1,760百万円と前年同期に比べ240百万円（△12.0%）の減益となりましたが、当第3四半期では前年同期を上回る回復を見せております。

④ 東南アジア

東南アジアの売上高は、新型コロナウイルスの感染拡大による生産活動の制限の影響から回復しつつあるものの、回復ペースが遅いことに加え、得意先の減産影響等により1,610百万円と前年同期に比べ1,420百万円（△46.9%）の減収となりました。セグメント損失は、減収対策として休業を実施し、諸経費についても抑制をはかったものの、減収影響及びベトナム新拠点の立ち上がり費用の増加等により130百万円（前年同期は406百万円のセグメント利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、72,639百万円となり、前連結会計年度に比べ2,144百万円減少しました。これは原材料及び貯蔵品の減少848百万円、機械装置及び運搬具の減少768百万円が主な要因であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、39,531百万円となり、前連結会計年度に比べ437百万円減少しました。これは支払手形及び買掛金の減少1,954百万円、賞与引当金の減少358百万円及び短期借入金の増加1,924百万円が主な要因であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、33,108百万円となり、前連結会計年度に比べ1,707百万円減少しました。これは利益剰余金の減少887百万円、為替換算調整勘定の減少679百万円が主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期通期の連結業績予想につきましては、現時点においては2020年8月6日公表の業績予想より変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,403	9,681
受取手形及び売掛金	13,799	13,866
製品	1,918	1,711
仕掛品	940	831
原材料及び貯蔵品	9,847	8,998
その他	3,121	1,941
貸倒引当金	△2	△3
流動資産合計	39,029	37,027
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,381	9,177
機械装置及び運搬具(純額)	10,889	10,121
工具、器具及び備品(純額)	3,386	3,745
土地	4,446	4,409
その他(純額)	4,152	4,962
有形固定資産合計	32,256	32,417
無形固定資産		
特許権	312	218
その他	399	368
無形固定資産合計	712	587
投資その他の資産		
投資有価証券	1,829	1,772
繰延税金資産	387	273
その他	576	569
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	2,785	2,607
固定資産合計	35,754	35,612
資産合計	74,784	72,639

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,523	8,569
短期借入金	10,593	12,517
1年内返済予定の長期借入金	2,895	2,852
未払法人税等	180	222
賞与引当金	805	447
役員賞与引当金	87	36
製品保証引当金	78	78
その他	5,942	4,759
流動負債合計	31,105	29,483
固定負債		
長期借入金	5,090	6,320
繰延税金負債	298	448
退職給付に係る負債	2,400	2,422
役員退職慰労引当金	530	—
役員株式給付引当金	—	17
製品保証引当金	98	95
その他	445	742
固定負債合計	8,863	10,048
負債合計	39,968	39,531
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,206	3,206
資本剰余金	5,213	5,213
利益剰余金	30,311	29,424
自己株式	△16	△127
株主資本合計	38,715	37,717
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	371	322
為替換算調整勘定	△4,237	△4,916
退職給付に係る調整累計額	△32	△14
その他の包括利益累計額合計	△3,898	△4,608
純資産合計	34,816	33,108
負債純資産合計	74,784	72,639

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	80,113	56,514
売上原価	71,301	52,501
売上総利益	8,811	4,013
販売費及び一般管理費	5,231	4,329
営業利益又は営業損失(△)	3,580	△316
営業外収益		
受取利息	99	79
受取配当金	67	60
投資不動産賃貸料	49	49
持分法による投資利益	10	3
受取和解金	5	—
補助金収入	78	290
保険解約返戻金	—	53
その他	83	51
営業外収益合計	392	588
営業外費用		
支払利息	331	277
為替差損	287	132
その他	69	38
営業外費用合計	688	447
経常利益又は経常損失(△)	3,284	△175
特別利益		
投資有価証券売却益	—	150
特別利益合計	—	150
特別損失		
関係会社株式売却損	176	—
投資有価証券売却損	—	0
特別損失合計	176	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	3,108	△25
法人税等	1,050	473
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,057	△498
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	2,057	△498

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,057	△498
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	27	△48
為替換算調整勘定	△1,149	△679
退職給付に係る調整額	△9	17
その他の包括利益合計	△1,132	△709
四半期包括利益	925	△1,208
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	925	△1,208

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り

前事業年度の有価証券報告書に記載した新型コロナウイルス感染症の影響の終息時期等を含む仮定及び会計上の見積りについて、重要な変更はありません。

役員退職慰労金制度の廃止

当社は、2020年6月26日開催の第82回定時株主総会において、役員退職慰労金制度の廃止に伴う退職慰労金の打ち切り支給を決議いたしました。

これに伴い、「役員退職慰労引当金」を全額取崩し、打ち切り支給額の未払分509百万円は、固定負債の「その他」に含めて表示しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	日本	北米	中国	東南アジア	
売上高					
外部顧客への売上高	25,287	33,051	18,742	3,030	80,113
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,148	55	2,415	3,975	10,594
計	29,435	33,107	21,157	7,006	90,707
セグメント利益	374	785	2,000	406	3,567

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,567
セグメント間取引消去	11
その他の調整	2
四半期連結損益計算書の営業利益	3,580

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	日本	北米	中国	東南アジア	
売上高					
外部顧客への売上高	20,053	19,010	15,839	1,610	56,514
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,495	48	1,665	3,027	8,237
計	23,549	19,059	17,505	4,637	64,751
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	△1,080	△938	1,760	△130	△388

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△388
セグメント間取引消去	77
その他の調整	△4
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△316